別紙1

市町村提案・実施事業
市町村と地域団体との協働提案事業　**成果指標設定調書**

【成果指標の設定】

成果指標設定年度　24　年度

市町村名	川口市			
提案事業名	盛人大学を核とした地域連携によるまちづくり事業			
事業期間	平成24年4月　～　平成25年3月			
事業の必要性、目的	地域が外に向かって輝きを放つためには、地域内の様々なヒト、モノ、カネが活発にしかも集約的に動くことが必要である。このため、①50～70歳の居場所と出番の保証②地域資源の集結と発掘③同世代が集まるエネルギーによる地域経済の活性化④地域の担い手育成⑤市民と職員が共に学ぶ場の創出などを目的に、盛人大学を地域の核として展開することにより、ヒト、モノ（歴史、環境含む）、カネ(経済）の地域内循環を活発化させ、魅力ある地域づくりをすすめるもの。			
成果指標	（成果を検証する指標） 地域との関わり指標			
	（成果検証の具体的な方法） ①地域団体が盛人大学の運営や事業に関わる延人数②受講生が地域の活動に関わる延人数			
	（上記の指標を設定した理由） 盛人大学を通していかに地域の様々な人が集まり、つながり、さらにその人たちが地域に関わるか、ヒト、モノ(歴史、環境等）、カネ(経済）の地域内循環の指標とするため。			
	（成果の目標値）			
	現状値 24年３月現在	①608人②120人	目標値 25 年３月時点	①1,920人②1,320人
	年間利用者数(目標)（人）	7,000人	稼働率(目標)（%）	開館日100%
	住民への公表方法 及び特記事項	市広報紙（特集を組む）、ホームページ、PRチラシ配布などを行う。		

【成果指標と構成事業の関連性】

平成24　年度　構成事業

	構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
①	盛人大学キャンパス設置事業	ハード	旧並木公民館を専用キャンパスとして改修を行う。キャンパス設置は、盛人大学のカリキュラムの拡充、受講者の拡大し、受講生の活動の活発化につながる。	19,488
②	盛人大学拡充事業	関節補	8コース、300人定員の盛人大学を運営する。多様なカリキュラムにより、様々なニーズに対応することができるとともに、スタッフ、講師などの大幅な人材の創出と活用ができる。	1,600
③		ハード ソフト 実行委 間接補		
④		ハード ソフト 実行委 間接補		
⑤		ハード ソフト 実行委 間接補		
⑥		ハード ソフト 実行委 間接補		
			合計	21,088

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	盛人大学の目的達成のために、職員体制を強化するとともに、運営委員会の開催や各コースの市民スタッフによる実行委員会の会議や打合せを行う。また、キャンパスは４～7月に改修工事を行う。
成果指標の達成見込み	NPOや市民の実行委員が盛人大学の運営に関わるとともに、受講生が地域の活動に積極的に行なうなど、充分目的達成は可能と考える。